



- 会長／佐藤有司
- 副会長／山崎典夫・薩摩 建
- 幹事／梅垣和彦
- R 情報(会報)委員長／笠原新太郎

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939  
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例 会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

## 第 2894 回例会 2019 年（令和元年）11 月 12 日(火)

点 鐘：佐藤有司 司 会：矢島 進  
斉 唱：手に手つないで  
ラッキーNo：NO. 21 北澤洋之介  
結 婚 祝：中畑隆一・宮坂晃介・小口 隆・片桐伸介・矢島 貴

### 会長挨拶

皆さん、こんにちは

ご存知の会員も多いかと思いますが、この度当クラブの小口裕司会員の(株)ダイヤ精機製作所様が県内の優れた製造業者を表彰する「ものづくり大賞NAGANO2019」で最高賞のグランプリを受賞しました。誠にありがとうございます。

(直径 0.02mmの微細穴加工で、髪の毛の断面にも穴加工が出来るという、私自身創造を絶する機械であります。)

製造業の減速傾向が続く中、明るいニュースであります。

ものづくりというキーワードでお話をさせていただきます。

10 月 31 日未明に起きました沖縄県の首里城の火災、沖縄県民のみならず日本国内を初め世界各地より悲しみの声が聞かれました。

私も琉球文化を感じる素晴らしい建造物であったことを思い出します。

すでに首里城再建のための寄付や県や国の対応も発表されております。

再建にあたってお金の問題より重要な問題がある。特に首里城の特徴のひとつである赤瓦の調達に苦慮しているようです。それは原材料と技術の問題だそうです。

この首里城の瓦に使用されている土の採取場所には公共施設が建っており入手困難。

また技術面では焼けた赤瓦は5年前に亡くなられた瓦職人・奥原崇典さんの焼いた赤瓦が使用されており、現在は再現不可能と言われております。

それは奥原さんの独特の土の配合と通常より高い温度で焼くことで強度と表面の艶を出していたそうで、その数は数十万枚にもおよぶそうです。

元々の首里城の屋根は板葺であったそうです。1660 年の火災で瓦葺きになったようですが、その時は赤では無く灰色。その後再度火災で焼け 1715 年再建から赤瓦になったそうです。その後も第2次世界大戦での攻撃による破壊もありました。

現在、首里城の復元整備(赤瓦も含めて)をされている瓦業者の方で、奥原さんと縁が深く、奥原さんの瓦を研究されている島袋さん(71 歳)は「奥原さんは弱音を吐く男ではな

かったが、とても苦勞していた。求められる瓦の規格水準が厳しくトラック 3 台分運び入れて、2 台分位持ち帰って時もあった」ということでやはり再現の厳しさを感じました。しかし赤瓦業者の方は「沖縄のシンボルは我々の手で再建する」と語っておられました。日本の建造物文化の伝承は作り変えることによって守ってきたと言えるでしょう。伊勢神宮における七年遷宮は建造物と共に伝統技術も伝承し続けてきた最たるものです。赤瓦業者の皆さんには、この苦境を乗り越え「ものづくり日本の魂」で新たな首里城の再建にご尽力願いたいと思います。以上挨拶とさせていただきます。

## 幹事報告

- 次週 11/19 は移動夜間例会です。山城屋さんで 18:30 点鐘です。
- 今週末 11/17(日)は、60 周年記念事業の一環である、岡谷蚕糸博物館への屋外教材贈呈式をロータリーデーとして行います。後ほど宮坂R財団委員長より詳細を説明してもらいます。午前 10 時から 12 時頃までの予定です。多数の方のご参加をお願いいたします。当日はRジャンパーをご着用ください。
- 来年 2 月 8 日の岡谷RC60 周年記念夜間例会について、人数を把握したいので 11/19 までに返信いただきますようお願いいたします。

## 委員会報告

**社会奉仕委員会** 7 月より「ダメ！ゼッタイ！」運動の募金を実施しておりました。本日が最終となり締めさせていただきます。長い期間ご協力ありがとうございました。金額を集計をいたしまして後日ご報告させていただきます。

### ※11/17 ロータリーデーについて説明 宮坂晃介R財団委員長



11/17(日)に、岡谷蚕糸博物館カイク学習屋外教育エリア等でのイベントを開催いたします。イベントについてはR財団の地区補助金を利用した事業です。R財団地区補助金とは、3 年前に我々会員がR財団へ寄付したお金の何割かが申請により戻ってきて、それを有効に活用するというものがあります。プロジェクトの名前は「市民と共に岡谷市のシルク産業を学び情報発信する事業」です。主旨としては、岡谷蚕糸博物館を訪れた人に対して、

アプローチ・グリーンスクエアに繭をイメージしたモニュメントを設置し「シルクのまち岡谷」を印象付けると共に人々が集い学べる空間を整備する、というものです。また 60 周年記念事業の一環としてメンバーの皆さんの参画意識と地域への訴求力向上を謳っております。実際に贈った品は、まず、9/7 に数名で花壇に花を植えて整備いたしました。それとエプソンの大判プリンター、電子顕微鏡、繭の長さを測れる屋外教材、案内看板、これらを既に納入させていただきました。当日 17 日は、贈った教材を使用しての実習となり、ボーイスカウトと一般応募の市内小学校親子約 30 名ほど参加していただきます。ロータリーデーとして旗も掲げまして、ロータリークラブというのを知っていただこうと思います。10 時から贈呈式、除幕式、記念撮影の後、贈呈した教材を使っての実習をし、採った繭糸でストラップを作り、持ち帰っていただきます。顕微鏡で繭の表面を観察し、プリンターで印刷する実習も予定しています。今までにないくらい大きなイベントになるかと思います。多くに会員の方に参加していただき、楽しめればよいなと思います。よろしく願いいたします。



## 「埔里 R C 55 周年記念式典訪問報告」

中嶋孝一国際奉仕奨学事業副委員長

先月 18 日～21 日まで  
三泊四日のスケジュールで、埔里 R C の 55 周年記念式典に 6 名で参加してまいりました。18 日朝、岡谷を 3 時に出発しセントレアに私の車で向かいました。台湾の空港では大勢の方に出迎えていただき熱烈な歓迎を受けました。台湾での様子は写真を見ながらお話しします。

### 【到着～前夜祭】



### 【植樹 記念碑】



## 【式典】



## 【観光】



## ニコニコボックス

高木昭好 11月10日カノラホールで行われた第65回せせらぎ会コンサートに大勢の方に御来場いただき感謝申し上げます。楽しく終わることができ来年に向かって気持ちを新たにしました。

今井康善・牛山幸一・梅垣和彦・江黒寛文・太田博久・小口国之・小口 隆・小口泰史・片桐伸介・上條英雄・北澤洋之介・小林大介・佐伯克己・佐藤有司・杉村邦彦・高木昭好・中嶋孝一・中畑隆一・中村文明・濱 俊弘・林広一郎・林 靖高・宮坂晃介・宮坂 伸・宮澤由己・守屋麻里・矢島 貴・山岡俊幸・山岸邦太郎・山崎典夫 埔里RC55周年記念式典訪問報告会、中嶋孝一副委員長よろしくお願ひします。

## 出席報告

会員数47名、出席者33名、出席率70.21%

2019-2020年度RIテーマ  
ロータリーは世界をつなぐ  
ROTARY CONNECTS THE WORLD

